



# JAにしゅうわ 自己改革の取組



## 新たな成長へ

～ともに歩み、挑戦する～

をスローガンに

農業者所得  
の増大



農業生産  
の拡大



地域活性化  
への貢献



3つの基本目標をかかげて自己改革に取り組んでいます。



# JAにしようわ 自己改革の取り組み状況

## 農業者の所得増大・農業生産の拡大

### 1. 西宇和農業の振興に向けて の担い手の育成支援

#### ①労働力斡旋の充実強化

- アルバイター事業については、充実強化に努め毎年増加をしています。



- JA農作業支援事業において、2,380人/年を計画し、毎年ほぼ計画通りの支援を行っています。平成30年度JAこしみずとの連携の一環として農作業支援員の相互の受け入れを実施しています。



#### ②認定・家族経営協定農家の推奨並びに 法人化への検討

- 青壮年同志会研究発表大会、女性部セミナーにおいて事業承継についての研修会を実施、計画書の作成・審査等への協力、農業次世代人材育成事業対象者の相談、書類作成等のアドバイス、資金相談に応じています。

#### ③1ターン就農者への取り組み強化

- 地区別支援チームの設置において、現在8チーム設置しています。管内全域での設置を目標に新規就農者の受け入れ体制の整備を進めています。



#### ④JA本体による農業経営の取組

- 平成29年4月より農業経営を実施(3園地約90a)し、就農希望者の研修園地として管理活用し、平成30年4月新規就農研修生に引き継ぎました。新たにモデル園地(7か所)を確保し、研修生の定期研修や営農指導員の研修に利用しながら管理しています。

#### ⑤軽労働化に向けた取組と 鳥獣害対策の徹底

- 各種補助事業を活用し、園内道の整備、単軌道の整備、個人スプリンクラーの整備を促進し、計画以上の取り組みを進めています。
- 鳥獣害防止施設整備事業を活用した鉄筋柵、電気柵の設置もほぼ計画通りに進めています。

#### ⑥農業融資をサポートする農業融資の強化

- 「農業おまかせ資金」について、金融部、農業振興部、営農指導部で情報を共有し、農家組合員の需要に対応し、幅広い営農用途に活用いただいています。
- 農家組合員の要望に対応できるよう、農業融資担当者の育成強化を念頭に農業融資実務資格の取得を進めています。



## 2. マーケットインに基づく 生産振興・付加価値の増大

### ① 奨励品種への改植促進

- 極早生・老木園の改植促進に取り組み、過去2年間で温州みかん(早生・南柑・石地)で98,700本、平成31年委託注文数と合わせて現在約129,000本、デコポン・清見・甘平の導入では、平成31年委託分合わせて約74,000本となっています。平成30年度豪雨災害の復旧と併せて極早生・老木園・高接ぎ園の改植を推進していきます。

### ② マルチ栽培の拡大

- 糖度12度以上の温州みかんを、出荷量全体の40%以上を目指して、マルチ被覆の推進に努めています。JA職員によるマルチ被覆支援、市場職員研修による被覆支援、被覆準備支援として営農指導員・共選役職員・同志会・従業員による直管の組立をおこない省力化の提案とマルチ生産基盤づくりを実践しています。



### ③ オリジナル品種の生産拡大

- 紅マドンナの施設化において「次世代につなぐ果樹産地づくり」推進事業を利用し、過去2年間で12棟、110a、平成30年度も5棟、57aを計画しており、今後も継続して事業を活用し、推進していきます。

### ④ 品種別新商品の取組

- 今年度100%果汁ジュースの販売において、OGフーズと商談が成立しテレビショッピングでの販売が決定しています。
- 冷凍柑橘を各種イベントにて試食販売を実施し増販に努め、特産センターでの販売、夏ギフトへの取り扱い等、販売の拡大に努めています。

## 3. 販売事業改革

### ① 共選処理能力の最大運用

- 選果機稼働率の向上のため、共選間の委託荷造りを実施、共選の効率運営を進めています。
- 山取り直接の共選搬入を計画、直接搬入までは至っていませんが、今年度より品格を下げて2級果込での受入体制、格外込の拾い込みを7共選で実施予定です。
- 共選の再編に向けて、各共選償却資産の調査を終え、作成資料に基づき今後の方向性を再編特別委員会で検討をすすめていきます。



## 4. 生産資材における トータルコストの低減

### ① 営農指導部との連携強化による 肥料予約注文の精度の向上

- 管内園地の土壌分析結果をふまえた土壌改良材の投入を推進しています。また浮皮軽減対策としてカルシウム資材の葉面推進を散布啓蒙した中で予約注文書を作成し、予約注文比率の向上を図り、価格に反映させています。
- 平成28年度より予約注文肥料割合に応じて生産者に還元しています。平成28年度は3,000万円、平成29年度は供給額の5%(2,154万円)を還元しました。



# 地域活性化への貢献

## ① 移動購買者の運行による組合員・地域住民へのサービス向上

- 店舗統廃合等に伴い、買い物弱者支援の一環として三崎地区、保内地区に移動購買車 2 台で巡回販売を実施しています。



## ② 次世代への後継者育成

- 県内外で出前授業や収穫体験等の食農教育活動を展開しています。



- 同志会によるスポーツ交流会、研究発表大会、夏季研修大会への参加要請、また昨年婚活イベントを開催し 4 組のカップルが誕生、今年度についても開催を計画しています。

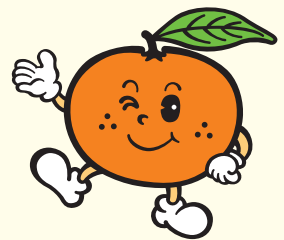


- 女性部活動において、健康のつどい、フレッシュミズ交流会、女性部セミナー等を開催し、会員の交流を深め、地域への浸透を目指しています。毎年、年末にかけてみかんツリーを作成し、広く西宇和みかんPR活動を展開しています。



J A にしうわでは、組合員の皆様から自己改革に向けての取り組みに対するご意見を求めています。これまでの取り組みをご理解いただくとともに、改善すべきこと、要望等がありましたらご意見をください、皆様のご意見をもとに自己改革につなげていきます。

引き続き、J A にしうわの事業や様々な取り組みにご理解・ご協力をお願いいたします。



**J A にしうわ**

電話番号 0894-24-1111 (代表)

FAX 番号 0894-24-7506

E-Mail janu001@ja-nishiuwa.jp